

# 会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 1 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成 30 年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成 30 年 4 月 18 日（水） 午後 7 時から午後 7 時 30 分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）  
滝澤隆行、武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子  
山岸 愛、山岸一之（欠席なし）

- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

**【野口係長】**

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【星野会長】**

- ・ 会議録の確認：川上副会長に依頼  
次第 2「議題（1）今年度のスケジュールについて」事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.1 により説明

【星野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

資料の“9月に研修”というところで「移住促進諏訪の会による視察研修への参加？」となっているが、3月29日に“移住促進諏訪の会”の会合が開かれた。その際、平成29年度においては、外の色々な情報を集めて勉強するという活動で活動し、平成30年度はそれを元にステップアップしていくために、これまで外から得た情報を参考に活動していかなければならないという考えのもと活動することとなったようである。このため、視察研修も大切だが、内なるものに力を入れたいとのことであつたため、視察の予定は今のところ行わないという情報であつた。

また、7月から8月の「研修内容、講師候補、視察等の協議」は、先進地で頑張っている方、知識を持った方を講師に招いて、公民館または小学校の体育館を会場に、地域の方も招いて講演会を開催して、「現在の諏訪地区の現状はどうか」、「今後どうなっていくのか、どうしたらいいのか」、「他の先進地域ではどのような活動等をしているのか」という地域住民に対しての情報提供をどんどんやったほうが良いとの意見があつたので、資料に記載した。これも“移住促進諏訪の会”との連携が不可欠だと思われる。今後の「自主的審議」はこのような内容を予定している。

「地域活動支援事業」は、今年度も480万円の予算をもらっている。どの程度の件数が提案されるかは現在まだ不明であるが、昨年度は若干予算が余つたため2次募集を行っている。予算を有効に活用するため、2次募集をすることも一つの策と考えている。

「自主的審議」はこのように計画したが、「地域活動支援事業」の採点作業に時間を取られて「自主的審議」に時間を使えないとの意見が他の区でも挙がっており、「地域活動支援事業」の審査・採択作業は市でやってはどうか、との意見があるのも事実だ。

地域活動支援事業の提出締め切りが、残り1週間程度となつたため、委員各位か

ら各団体の活動を活発化させるためにも提出して貰えるように声掛けをお願いしたい。

では、資料1の流れで問題ないか。

#### （「よし」の声）

では、今年度は資料の流れで進めていく。

次に、「その他」の「(1) 次回開催日の確認」について事務局に説明を求める。

#### 【野口係長】

##### ・次回開催日の説明

合わせて、地域活動支援事業の提案状況についてお知らせさせていただく。現在、諏訪区での提案書の提出は少なく、話が来ている案件を含めても少ない状況である。諏訪区の配分額は、他の自治区に比べても人口が少ないため、一人あたりの配分額が多くなっている。そのため予算額を使い切るのは難しいのだが、有効活用したいとの思いもあり、昨年度も2次募集を行ったところだ。できれば、自主的審議を進めるためにも、一次募集の段階で上手に使い切れるよう、各委員が活動団体等に声掛けして色々な提案書を出してほしい。既存の事業に新しい試みの事業を1つ加えて展開していくのも方法としてはありなのではないか。工夫してほしい。

#### 【星野会長】

事務局からも話があったが、地域活動支援事業の配当金は均等割が一律450万円に人口割が追加されている。このため、1人あたりの配分額が28区中で最多額となっており、諏訪区は恵まれているという見方もできる。この補助金を有効活用できるように、委員には働きかけをお願いしたい。

##### ・次回の協議会：5月25日（金）午後6時から 諏訪地区公民館

次に「(2) その他」について何かあるか。

#### 【内山松男委員】

提案状況の中間報告というのはいあるか。

#### 【野口係長】

提案書が整理され、補助申請額が固まるのが締め切りギリギリのことが多く、“いつの時点で”というのが難しい。問い合わせをもらえばその時点のわかる範囲で情報をお伝えできる。

【内山松男委員】

現段階ではどの程度か。

【野口係長】

確定分では16万9千円、3.5%の消化率である。今後、諏訪の里づくり協議会から比較的大口の申請が来る予定であることは把握している。

【星野会長】

何か各種団体より申請の話を聞いていないか。

【野口係長】

昨年度申請した団体から、今年度は申請しないとの話もあるため、呼びかけ等をお願いしたい。

【星野会長】

他の自治区で配分額をオーバーしてしまったところほどの程度あるのか。

【野口係長】

28区の資料は本日持ち合わせていないのでお答えできないが、中部まちづくりセンターの管轄の5自治区において、昨年度をオーバーしたのが春日区、津有区、高士区の3自治区である。

【星野会長】

諏訪区でも有効利用して、地域の活性化につながるよう各委員からも話を出してほしい。

他にないか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。